

# キャスターオーガ

## 取扱説明書

### FC-201F

#### ご使用になる前に

- はじめに ..... 1
- 安全のため必ずお守りください ..... 2
- 各部の名称とはたらき ..... 4
- 使用前の準備 ..... 5

#### ご使用にあたって

- 作業のしかた ..... 6

#### 知っておきたいこと

- 定期点検 ..... 7
- 長期格納 ..... 7
- 不調の原因と処置 ..... 7

#### その他

- 仕様 ..... 8
- オプション ..... 8
- 安全確認一覧表 ..... 10
- 純正部品表 ..... 11

ご使用前に必ずお読みください  
いつまでも大切に保管してください

# はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書には、本機の正しい安全な使いかた、保守点検などについて記載してあります。本機を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みになって、本機の構造などをじゅうぶんご理解ください。

なお、仕様などの変更により、お求めいただいた製品と、本書の内容やイラストの一部が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

お読みになった後、必ず大切に保管し、わからないことがあったときは、いつでも取出してご利用できるようにしておいてください。

## ■ 危険防止

この取扱説明書では、必ず守っていただきたい重要な注意事項について、次のように表示しています。

### 1. 安全のため必ず守っていただきたいこと。

**▲ 警告** ……もし守らないと、重傷事故を引起すことがあります。

**▲ 注意** ……もし守らないと、負傷事故を引起すことがあります。

### 2. 機械の損傷を防ぐため必ず守っていただきたいこと。

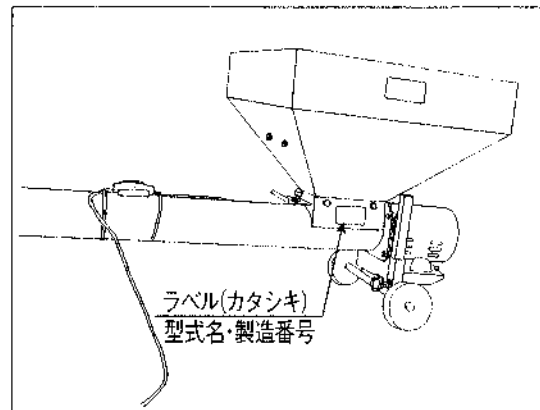
**重要** ……もし守らないと、機械の故障や損傷につながります。

## ■ ご不明な点や不具合がありましたら

本書や本機についてご不明な点や、不具合がありましたら、無理に使用せず、ご購入店または弊社（本書のうら表紙に記載）までお問合わせください。

軽い故障でも重大事故につながる場合がありますので、早期発見に心がけ、早めに整備してください。

故障や不具合が発生したときは、型式名と製造番号を必ずご連絡ください。



### ▲ 警告

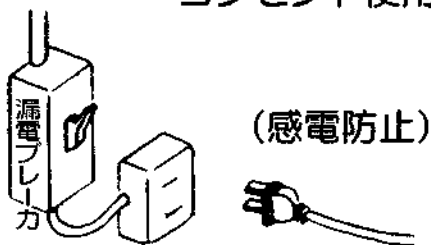
- 本機は稲もみや麦などの、こく粒搬送用として設計されています。その他の用途には使用できません。
- 改造して使用することは、しないでください。

# ⚠ 注意 安全のため必ずお守りください

使用前にこの取扱説明書をよく読み、理解する

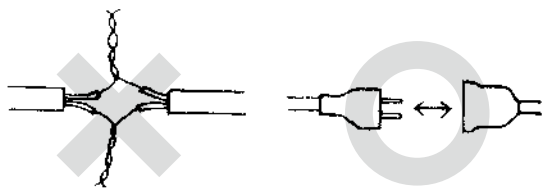
機械を他人に貸す場合は取扱い方法をよく説明し、あらかじめ取扱説明書をよく読ませる

漏電ブレーカの設置されたコンセント使用

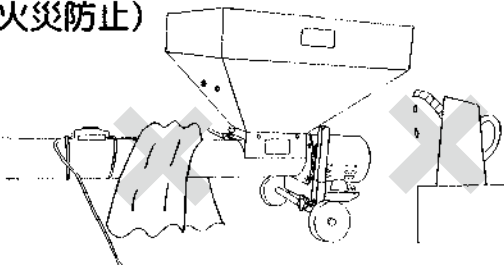


電源コードの延長はオス・メスプラグで接続

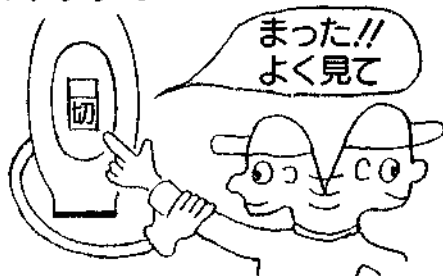
(感電・火災防止)



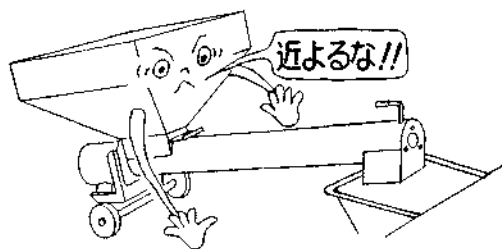
電源やモータの周辺に燃えやすいものを置かない  
(火災防止)



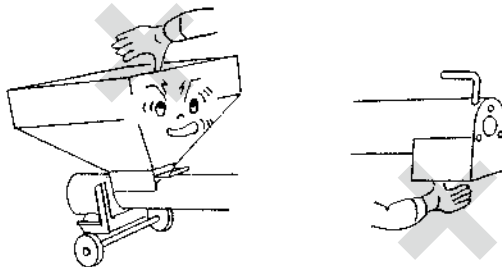
周囲の安全を確認してからスイッチON



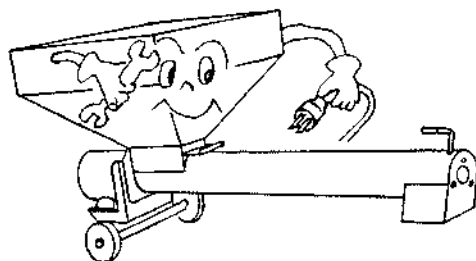
運転中は人を近づけない



運転中はホッパ・排出口に絶対手を入れない



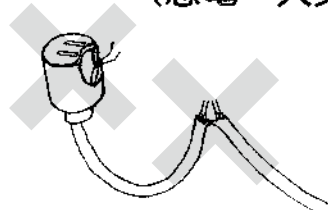
点検はスイッチを切り、プラグを抜いてから



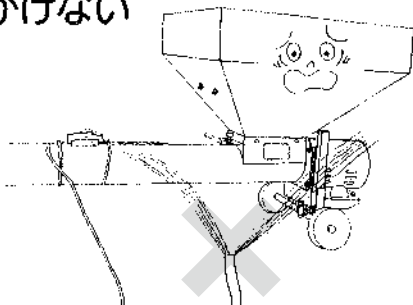
# ⚠️ 注意 安全のため必ずお守りください

コードやプラグがいたんだら  
すぐに交換

(感電・火災防止)



モータやスイッチ部に水を  
かけない



## 使用前に安全ラベルをよく読む

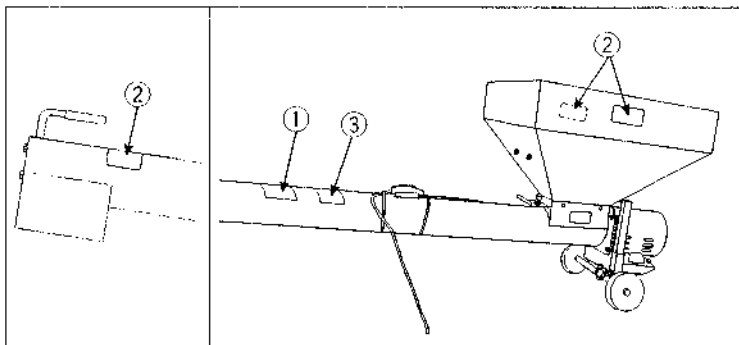
● キャスターオーガには次の安全ラベルが貼ってあります。よくお読みになって、理解した上で作業してください。

### ① 品番 22855-3113-1

#### ⚠️ 注意

1. 安全に作業するために、必ず取扱説明書をよく読んで機械の使い方をよく覚えてから使用のこと。
2. 電源スイッチを入れるときは、必ず周囲の安全を確認してから行うこと。
3. ケガをするおそれがあるので、掃除・点検・調整時は必ず電源を切ること。また、作業中は絶対に各回転物に触れないこと。
4. 万一詰った場合は、モータ焼損のおそれがあるので、速やかにスイッチを切ること。

22855-3113-1



### ② 品番 22770-2111-1



#### ⚠️ 警告

回転中、この中に絶対手を入れないこと。  
中の回転物に巻き込まれケガをします。

22770-2111-1

### ③ 品番 22142-3114-1

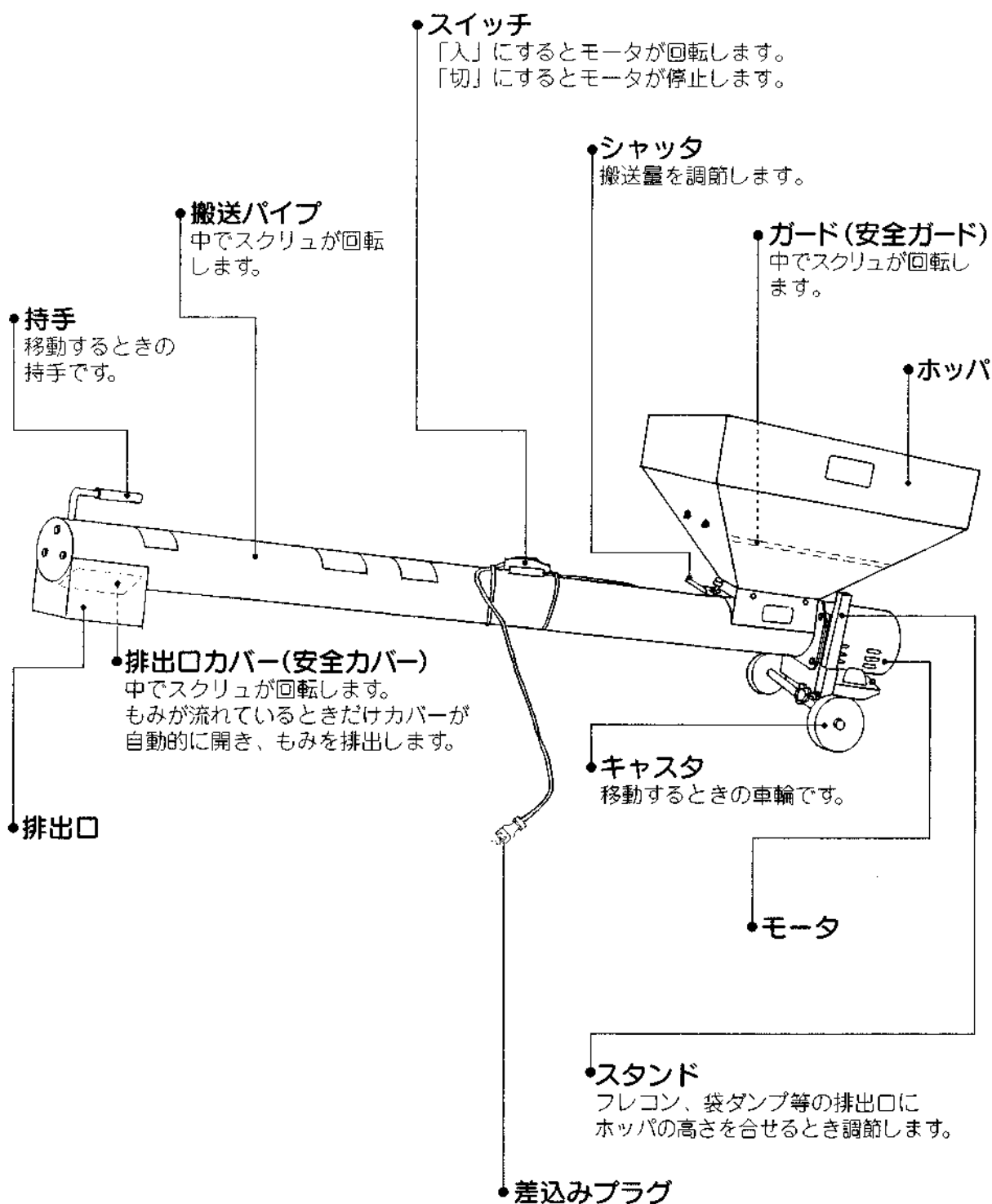
#### ⚠️ 注意

1. 機械から離れる時は、スイッチを切ること。  
万一モータが過熱したり、子供が手を触れると危険です。
2. 停電、ブレーキ作動時は、スイッチを切ること。  
電気が復帰した時、すぐに回り出し危険です。

22142-3114-1

- ラベルはいつもきれいにし、ハッキリと見えるようにしてください。
- シンナーやアセトンなどの溶剤ではふかないでください。文字や絵が消えることがあります。
- ラベルが損傷・破損した場合は新しいラベルと交換してください。
- 安全ラベルを貼ってある部品を交換したときは、必ず新しい安全ラベルも取寄せ、取外した部品と同じ場所に貼ってください。

# 各部の名称とはたらき



# 使用前の準備

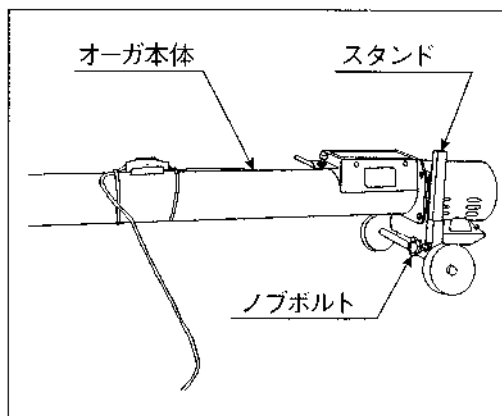
## 注意

- 準備作業は必ず電源コードの差込みプラグを抜いた状態で行なってください。

### 1. スタンドの組付け

オーガ本体にスタンドを差込み、ノブボルトで固定します。

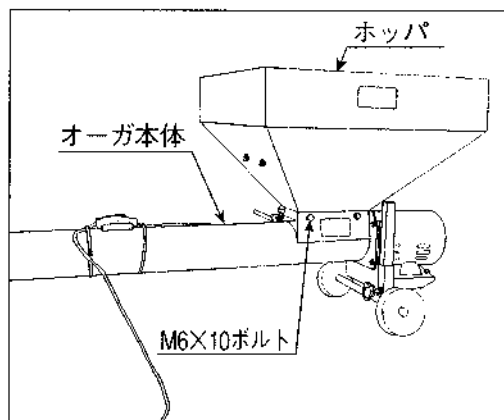
ノブボルト …………… 1個



### 2. ホッパの組付け

オーガ本体にホッパを組付けます。

M6×10ボルト …………… 4個



### 3. 電源盤コンセントの確認

## 注意

- 電源盤コンセントは漏電ブレーカ付のコンセントを使用してください。
- 電源は必ず交流100Vを使用し、直流100V（発電機など）での使用はしないでください。
- 電源コードを延長して使用する場合は、必ず1.25mm<sup>2</sup>以上のコードを使用し、接続はオス・メスプラグを使用してください。又、タコ足配線はしないでください。  
1.25mm<sup>2</sup>未満のコードを使用したり、コード同士を直接よって接続しますと、コード及び接続部が過熱し、ショートや火災の危険があります。

## 重要

- 電源盤のブレーカ容量は10A以上必要です。
- 延長コード（コードリール等）を使用したり、電源コードを延長して使用すると電圧が極端に低下し、モータが容量不足となります。延長コードの使用や電源コードの延長は極力しないでください。

# 作業のしかた

## 1. 搬送作業

### 警告

- 運転中はホッパ内や排出口に絶対に手を入れないでください。
- 運転中は周囲に人を近づけないでください。特にお子さんには注意してください。
- 運転中に異常が発生した場合は、すぐにスイッチを切り、差込みプラグを抜いてから点検してください。
- 運転中に停電または電源ブレーカが作動した場合は、すぐにスイッチを切ってください。スイッチが入ったままで電気が復帰すると、突然スクリュウが回転し、たいへん危険です。
- 機械から離れるときは必ずスイッチを切り、電源コードの差込みプラグを抜いてください。

### 注意

- 電源コードの差込みプラグを差込むときは、スイッチが「切」であることを確認してください。
- スwitchを入れるときは、補助者や周囲の人に合図をして、安全をじゅうぶん確認してください。
- カバーやガードを外したままでは絶対にスイッチを入れないでください。回転体に巻き込まれ、ケガをすることがあります。
- 暗いところでは作業しないでください。スイッチなどの位置がわからず危険です。
- 電源やモータの周辺に燃えやすいものを置かないでください。

①オーガ本体の排出口を乾燥機等のホッパに乗せる。

②ノブボルトをゆるめ、スタンドを上下してフレコンや袋ダンブ等の排出口高さにホッパ高さを合わせ、ノブボルトで固定する。

③電源コードの差込みプラグを電源コンセントに差込み、スイッチを「入」にする。

④オーガのホッパにもみを投入する。

⑤シャッタの開度で流量を調節します。

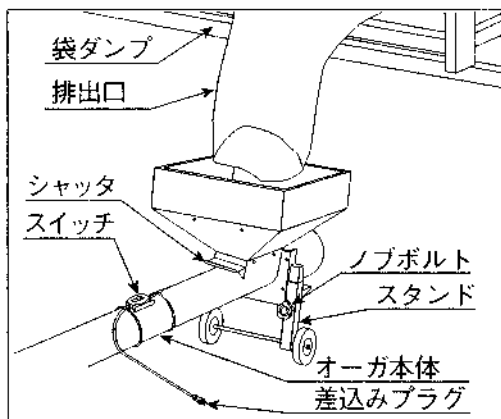
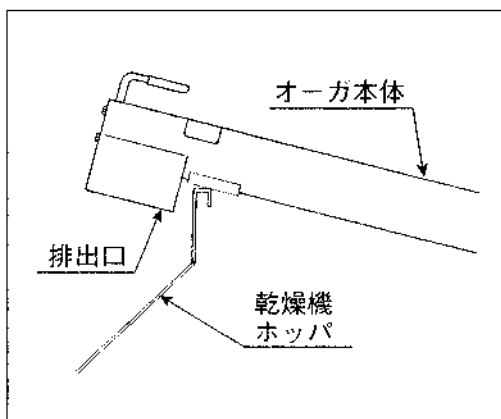
本機には自動コントロール装置はついておりません。

乾燥機等のホッパから、もみがあふれないよう、又排出口が詰まることのないようシャッタで調節してください。

⑥排出が完了したら、スイッチを「切」にし、電源コードの差込みプラグを抜く。

### 重要

- 高水分の稲もみや麦などにより、過負荷でモータが停止するような場合は、シャッタの開度を調節して流量を少なくしてください。
- 本機には過負荷保護装置はついておりません。過負荷状態で使用しますとモータが焼損しますので注意してください。



# 定期点検

## ⚠ 注意

- 点検は必ずスイッチを切り、電源コードの差込みプラグを抜いてから行なってください。
- プラグやコードなどが損傷した場合は、すぐに交換してください。そのまま使用すると感電や火災の危険があります。

毎日作業前にプラグやコードが損傷していないか点検してください。

# 長期格納

## ⚠ 注意

- 電装品には水を掛けしないでください。感電や漏電の危険があります。
- 保管中は特にお子さんが近よらないように注意してください。

①オーガ本体を傾け、内部に残ったもみ・わらくずなどを取除きます。

②機械は風雨のあたらない、ごみのない乾燥した場所に保管してください。もし戸外におく場合は雨水がかからないようにシートなどでおおってください。特に電装部には絶対に水が入らないようにしてください。

## 重要

- もみやわらくずが残っていると、ネズミの巣となり、コードなどがかじられて次の年の作業に支障をきたすことがありますから、きれいに除去してください。

# 不調の原因と処置

## ⚠ 注意

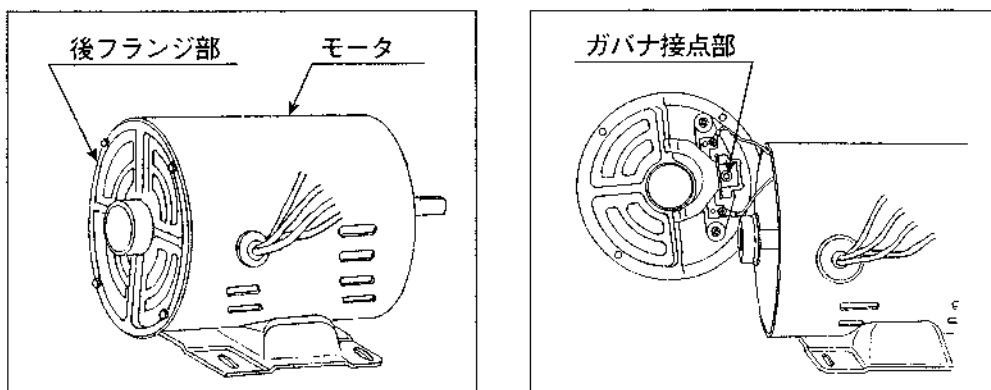
- 点検・調整は必ずスイッチを切り、電源コードの差込みプラグを抜いてから行なってください。

現象	原因	処置
モータが回らない	電気がきていない	電源・差込みプラグの点検(注1)
	スイッチが入っていない	スイッチ「入」にする
	正規電圧がきていない	●延長コードを使用している場合は、延長コードの使用をやめる ●他の機器の電気を切る
	ホコリによるモータのガバナ接点通電不良	ホコリを除去する(注2)
もみを送らない詰まる	異物の混入	異物の除去
乾燥機ホッパからもみがあふれてしまう	シャッタで流量調節していない	シャッタで調節する

注) 1. ネズミなどの害によりコードが断線し、短絡、漏電する場合がありますので作業前に各コードをじゅうぶんに点検してください。



2. モータの後フランジ部を軽くたたいてホコリを除去してください。  
軽くたたいても通電しない場合は、図の様に後フランジを分解しガバナの接点部を掃除してください。



## 仕 様

型 式	F C - 201 F	
全 長 (mm)	2 3 9 1 (有効長さ2000)	
全 幅 (mm)	4 5 2	
全 高 (mm)	最高700～最低519	
重 量 (kg)	3 0	
搬 送 量 (t/時)	最大8.0	※
使用電源 (V)	単相100	
モ ー タ (kW)	0.4	
搬 送 量 調 節	シャッタ調節式	

※搬送量は搬送角度で変化します。角度が大きくなるほど搬送量は低下します。

## オプション

### ■スタンド

F C - 201 F の搬送パイプをささえるキャスター付のスタンドです。

品 番	品 名
22844-0000-0	スタンド (F-1)



# 安全説明確認カード

説明者(販売店・農協)控

年 月 日

私は説明員から安全についての説明をききました。

ご使用者住所

氏名



販売店・農協名

担当者

型 式

製造番号

## 【基本事項】

チェック

1. 作業管理者を決めること。	
2. 作業に適した健康人であること。	
3. 取扱説明書をよく読み、理解していること。	
4. 使用目的が本機の要求目的と合致していること。	
5. 不当な改造をしないこと。	

## 【作業について】

チェック

1. 安全ラベルの注意事項を守ること。	
2. 作業場所の換気と明るさに注意をはらうこと。	
3. 電源盤のコンセントは漏電ブレーカ付のコンセントを使用すること。	
4. 運転中に停電またはブレーカが作動したときは、すぐにスイッチを切ること。	
5. 電源コードを延長する場合は、オス・メスプラグを使用すること。	
6. 電源やモータの周辺に燃えやすいものを置かないこと。	
7. スイッチを入れるときは周囲の人に合図をし、安全を確認すること。	
8. 運転中は周囲に人を近づけないこと。	
9. 運転中は排出口の中に絶対手を入れないこと。	
10. 運転中はホッパの中に絶対手を入れないこと。	
11. 運転中に異状が発生したときは、すぐにスイッチを切り、差込みプラグを抜くこと。	
12. 機械から離れるときには、必ずスイッチを切り、差込みプラグを抜くこと。	
13. カバーやガードを外したままでは、絶対にスイッチを入れないこと。	

## 【点検・格納について】

チェック

1. 点検・調整はスイッチを切り、差込みプラグを抜いてから行なうこと。	
2. プラグやコードが損傷したら、すぐに交換すること。	
3. 電装品には水を掛けないこと。	



# 安全確認一覧表

## 【基本事項】

1. 作業管理者を決めること。
2. 作業に適した健康人であること。
3. 取扱説明書をよく読み、理解していること。
4. 使用目的が本機の要求目的と合致していること。
5. 不当な改造をしないこと。

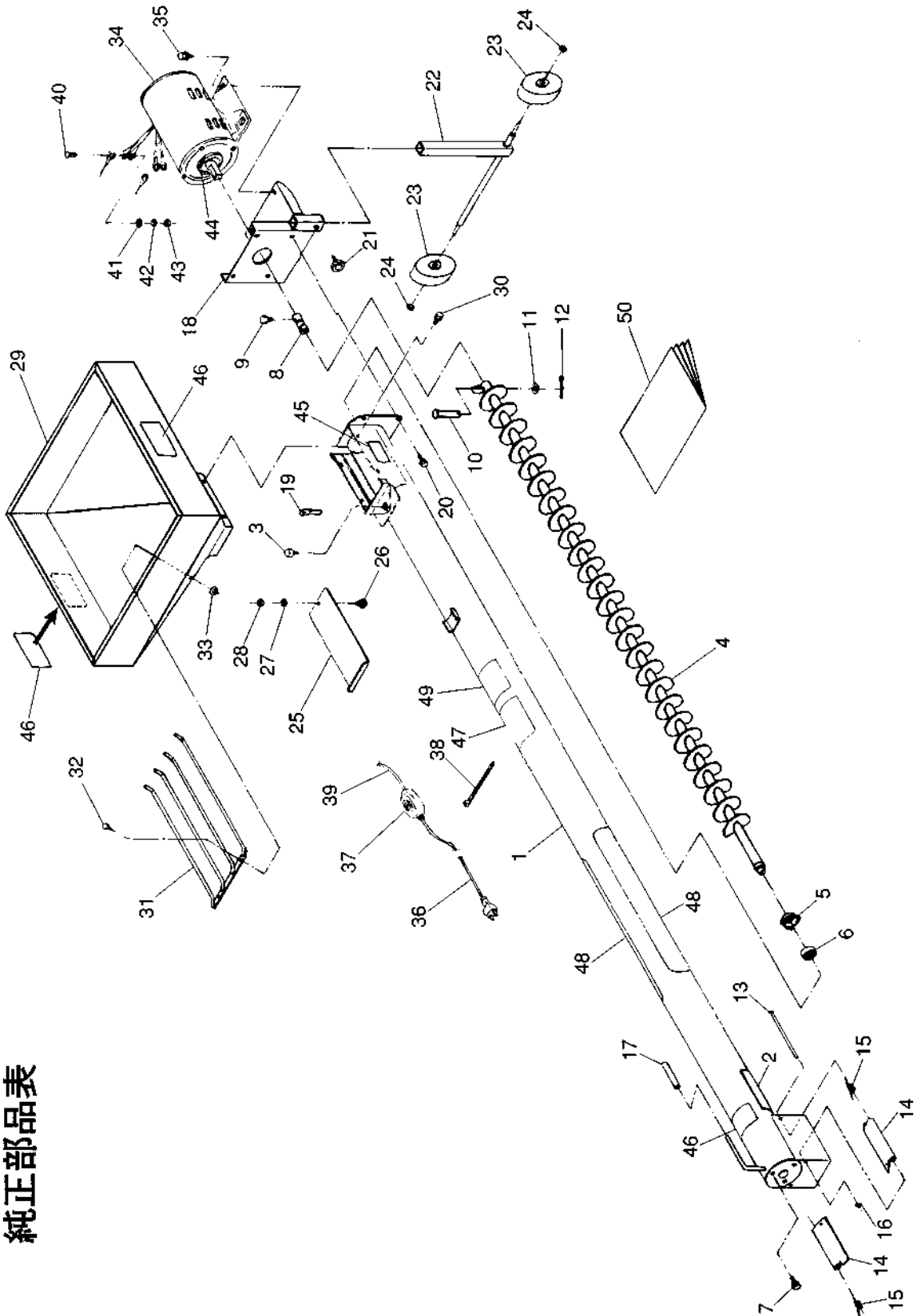
## 【作業について】

1. 安全ラベルの注意事項を守ること。
2. 作業場所の換気と明るさに注意をはらうこと。
3. 電源盤のコンセントは漏電ブレーカ付のコンセントを使用すること。
4. 運転中に停電またはブレーカが作動したときは、すぐにスイッチを切ること。
5. 電源コードを延長する場合は、オス・メスプラグを使用すること。
6. 電源やモータの周辺に燃えやすいものを置かないこと。
7. スイッチを入れるときは周囲の人に合図をし、安全を確認すること。
8. 運転中は周囲に人を近づけないこと。
9. 運転中は排出口の中に絶対手を入れないこと。
10. 運転中はホッパの中に絶対手を入れないこと。
11. 運転中に異状が発生したときは、すぐにスイッチを切り、差込みプラグを抜くこと。
12. 機械から離れるときには、必ずスイッチを切り、差込みプラグを抜くこと。
13. カバーやガードを外したままでは、絶対にスイッチを入れないこと。

## 【点検・格納について】

1. 点検・調整はスイッチを切り、差込みプラグを抜いてから行なうこと。
2. プラグやコードが損傷したら、すぐに交換すること。
3. 電装品には水を掛けないこと。

# 純正部品表



# 純正部品表

図番	コードNo.	部品名称	個数	備考
1	22856-1111-1	パイプ (スクリエ)	1	
2	50021-1423-1	テープ (60-125)	1	
3	14331-2128-1	トクシユボルト	1	
4	22855-1112-1	シャフト (スクリエ)	1	
5	50021-1419-1	ホルダ (ベアリング)	1	
6	08144-06202	ボールベアリング	1	#6202LLU
7	01202-50614	ボルト	3	M6×14
8	22856-1113-1	ボス (スクリエ)	1	
9	22856-1119-1	ボルト	1	M6、メック
10	05122-50835	アタマツキピン	1	φ8×35
11	04013-50080	ヒラザガネ	1	M8 (φ18×t1.6)
12	22855-1114-1	ワリピン(ステンレス、2-15)	1	幅2×15
13	22855-1115-1	ピン (シャッタ)	2	
14	22855-1116-1	シャッタ (ダグチ)	2	
15	22855-1117-1	スプリング (シャッタ)	2	
16	13216-1113-1	ナット (ブッシュ)	2	
17	19114-1154-1	テッピンダキヤップ	1	
18	22856-1118-1	ベース (モータ)	1	
19	19213-7528-1	ユウチングクリップ	1	
20	01120-50816	ボルト	4	M8×16
21	71218-2139-1	ノブボルト	1	
22	22855-2115-1	スタント	1	
23	22855-2121-1	ゴムシャリン	2	
24	04613-50070	ジクサークリップ	2	E-7
25	22855-2116-1	シャッタ (イリダチ)	1	
26	01052-50610	ボルト	1	M6×10
27	04512-50600	パネザガネ	1	M6
28	02014-50600	ナット	1	M6
29	22855-2117-1	ホッパ	1	
30	01202-50610	ボルト	4	M6×10
31	22855-2118-1	ガード (ホッパ)	1	
32	57077-50612	エレベータボタン	2	M6×12

図番	コードNo.	部品名称	個数	備考
33	02021-50060	ナット	2	M6フランジナット
34	22374-1121-1	モータ	1	单相100V、0.4kW
35	01026-50616	ボルト	4	M6×16
36	22856-2112-1	コード (ダンガン)	1	
37	22856-2113-1	スイッチ (チュウカシ)	1	
38	22767-2112-1	バンド (ワイヤ)	2	
39	22856-2114-1	コード (モータ)	1	
40	03054-50412	チバコネジ	2	M4×12
41	04013-50040	ヒラザガネ	2	M4 (φ10×t0.8)
42	04512-50040	パネザガネ	2	M4
43	02054-50040	ナット	2	M4
44	22856-2122-1	スボンジ (140)	1	
45	22856-3111-1	ラベル (カタシキ)	1	
46	22770-2111-1	ラベル (スクリエ、ケイロク)	3	
47	22855-3113-1	ラベル (アンゼンサキョウ)	1	
48	22855-3112-1	ラベル (サザイン)	2	
49	22142-3114-1	ラベル (タイザン、チュウイ)	1	
50	22856-2119-1	トリアツカイセツメイシヨ	1	

## 純正部品を使いましょう

補修用部品は、安心してご使用いただける純正部品をお買求めください。市販類似品をお使いになりますと、機械の不調や、機械の寿命を短くする原因になります。

## 純正オプションを使いましょう

純正オプションは、一番よくマッチするように研究され、徹底した品質管理のもとで生産・出荷していますので、安心して使っていただけます。市販類似品をお使いになりますと、作業能率の低下や機械の寿命を短くする原因になります。



### 株式会社 齋藤農機製作所

- 本社・工場 〒998-0832 山形県酒田市両羽町332番地  
TEL0234(23)1511(代) ファクシミリ0234(26)4161
- 北海道工場 〒079-0181 北海道岩見沢市岡山町18番地  
TEL0126(24)5401(代) ファクシミリ0126(24)5402
- 九州営業所 〒862-0939 熊本市長嶺南1丁目1番10号  
TEL096(384)6865(代) ファクシミリ096(384)6864

品番 22856-2119-1